

オンラインマニュアル

カラー液晶ディスプレイ - 19 ワイド
(VL-194SSWL)

はじめに

このたびは、弊社のカラー液晶ディスプレイ -19 ワイド (VL-194SSWL) (以降、本製品) をご購入いただき、誠にありがとうございます。このマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

2010 年 9 月

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- ・保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- ・修理を依頼するときには、必ず保証書をご用意ください。
- ・保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- ・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください。(詳しくは、保証書をご覧ください。)
- ・本製品の補修性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造終了後 5 年です。
- ・保証期間後に修理で機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

有寿命部品について

- ・本製品の LCD パネルは、有寿命部品です。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- ・有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境などにより異なりますが、1 日約 8 時間のご使用で約 5 年です。なお、この期間内はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- ・本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- ・摩耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修性能部品単位での修理による交換となります。
- ・本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

<主な有寿命部品>

LCD パネル、アルミ電解コンデンサ

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的にしていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

本製品は国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

電源の瞬時低下について

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じる場合があります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。
(社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

静電気および低周波電磁界に関するガイドラインについて

製品は、社団法人電子情報技術産業協会が定めた『表示装置の静電気および低周波電磁界に関するガイドライン』に適合しています。



当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。






本製品は電気・電子機器の特定の化学物質<鉛、六価クロム、水銀、カドミウム、ポリブロモビフェニル、ポリブロモジフェニルエーテルの6物質>の含有表示を規定するJIS規格「J-Moss」において、化学物質の含有率が基準値以下であることを示す「グリーンマーク（非含有マーク）」に対応しています。
本製品における特定の化学物質（6物質）の詳細含有情報は、下記URLをご覧ください。
<http://www.fmworld.net/biz/fmv/jmoss/>

■ 警告表示について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。



| | |
|---|---|
|  警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。 |
|  注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。 |

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

| | |
|---|--|
|  | △で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。 |
|  | ⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。 |
|  | ●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。 |

■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

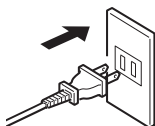
| 記号 | 意味 |
|--|--|
|  重要 | お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。 |
|  POINT | 操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。 |
| → | 参照ページを示しています。 |

■ 製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

| 製品名称 | 本文中の表記 |
|-------------------|----------|
| VL-194SSWL | 本製品 |
| ディスプレイケーブル (アナログ) | アナログケーブル |
| ディスプレイケーブル (デジタル) | デジタルケーブル |

■ 電源プラグとコンセント形状の表記について



本製品に添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行 2 極プラグ」です。このマニュアルでは「電源プラグ」と表記しています。

接続先のコンセントには「平行 2 極プラグ (125V15A) 用コンセント」をご利用ください。このマニュアルでは「コンセント」と表記しています。

■ 警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。

警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

■ 商標および著作権について

VESA、DDC は Video Electronics Standards Association の登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

Copyright FUJITSU LIMITED 2010

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱いってください。また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

■ 液晶ディスプレイ本体

⚠ 警告



- ・ 本製品はコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。万一、機器から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、異常な現象がなくなるのを確認して、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.35）、またはご購入元にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。



- ・ 本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.35）、またはご購入元にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



- ・ 本製品を落したり、カバーなどを破損したりしたときは、本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.35）、またはご購入元にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



- ・ 近くで落雷のおそれがある場合は、本製品の電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、雷がやむまで取り付けしないでください。

そのまま使用すると、落雷による感電・火災の原因となります。



- ・ 開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

感電・火災の原因となります。



- ・ 本製品をお客様ご自身で改造しないでください。また、マニュアルなどで指示がある場合を除いて分解しないでください。

感電・火災の原因となります。

修理や点検などが必要な場合は、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.35）、またはご購入元にご連絡ください。



- ・ 梱包に使用している袋類は、お子様の手の届く所に置かないでください。

口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。



- ・取り外したカバー、キャップ、ネジなどの部品は、小さなお子様の手の届かない所に置いてください。
誤って飲み込むと窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。



- ・本製品をご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。
お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。
過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。
また、本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。



- ・振動している場所や傾いた所などの不安定な場所に置かないでください。
本製品が倒れたり、落下したりして、けがの原因となります。



- ・本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。
火災の原因となります。



- ・本製品を風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・本製品の上や周りに、花びん・コップなど液体の入ったものを置かないでください。
水などの液体が本製品の内部に入って、感電・火災の原因となります。
また、本製品の上に重いものを置かないでください。
故障・けがの原因となります。



- ・矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源など）に接続しないでください。
火災の原因となることがあります。



- ・添付もしくは指定された以外の電源コードを本製品に使ったり、本製品に添付の電源コードを他の製品に使ったりしないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・清掃の際、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
故障・火災の原因となります。

⚠ 注意



- ・本製品を布などで覆ったり、包んだりしないでください。設置するときは本製品と壁の間に 10cm 以上のすき間を空け、通気孔などの開口部をふさがないでください。また、通気孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にはこりを取ってください。
内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



- ・本製品を調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。



- ・本製品を直射日光が当たる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそばで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。また、破損や故障の原因となることがあります。



- ・本製品をお使いになるときは次のことに注意し、長時間使い続けるときは1時間に10～15分の休憩時間や作業時間中に小休止をとるようにしてください。
本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因となることがあります。また、画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」など目の傷害の原因となることがあります。
 - ・画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
 - ・なるべく画面を下向きに見るように調節し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。
 - ・背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
 - ・いすの高さを、足の裏全体がつく高さに調節する。
 - ・手首や腕、ひじは机やいすのひじかけなどで支えるようにする。



- ・本製品を移動する場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。
電源コードが傷つき、感電・火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



- ・液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で15分以上洗浄した後、医師に相談してください。
中毒を起こすおそれがあります。
液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。



- ・本製品を腐食性ガス（温泉から出る硫黄ガスなど）が出る場所で使用しないでください。
本製品が腐食する可能性があります。

■電源コード

⚠警告



- ・電源コード、電源プラグが傷ついている場合は使用しないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・電源プラグは、壁のコンセント（AC100V）またはコンピューター本体のアウトレットに直接かつ確実に接続してください。
また、タコ足配線をしないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。



- ・電源コードの電源プラグに、ドライバーなどの金属を近づけないでください。
火災・感電の原因となります。



- ・電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。
重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源コードを傷め、感電・火災の原因となります。
修理は、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.35）、またはご購入元にご連絡ください。



- ・電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張ると、電源コードの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。



- ・電源プラグはコンセントから定期的に抜いて、コンセントとの接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取ってください。
ほこりがたまったままの状態で使用すると感電・火災の原因となります。



- ・電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込み、不完全な接続状態で使用しないでください。
火災・故障の原因となることがあります。



- ・電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアースネジへ接続してください。安全のため、電源プラグにはアース線が付いています。アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電の原因となります。アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、お近くの電気店もしくは電気工事士の資格をもつ人に、アースネジ付コンセントの取り付けについてご相談ください。電源コードを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。

注意



- ・電源コードを束ねた状態で使用しないでください。
発熱して、火災の原因となることがあります。



- ・本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

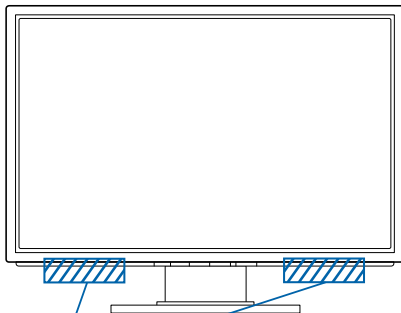
使用上のご注意

- ・液晶ディスプレイは次の特性をもっていますが、故障ではありません。
 - 長時間同じ表示を続けると残像となることがあります。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
 - 表示する条件によっては、むらおよび微少な斑点が目立つことがあります。
 - 製造工程により、各製品で色あいが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。
 - 液晶パネルは非常に精度の高い技術で作られておりますが、一部に常時点灯、消灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は 99.99%以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。
これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- ・液晶ディスプレイの取り扱いについて
 - 衝撃を与えたり、強い力で押ししたりしないでください。故障の原因となることがあります。特に、画面のお取り扱いについてはご注意ください。
 - ひっかいたり、先のものが当たったもので押ししたりしないでください。画面やカバーに傷が付く原因になります。
 - 画面を拭くときは、傷を付けないようご注意ください。

重要

▶ 画面を拭く場合、市販クリーナーの成分によっては画面の表面コーティングを傷めるおそれがあります。詳しくは「日常のお手入れ」（→ P.36）をご覧ください。

- ・スピーカー前面を強い力で押さないでください。スピーカーが破損する原因となることがあります。
- ・画面やカバーにゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。表面がはげたり、変質したりすることがあります。
- ・持ち運ぶときは画面やスタンド部を持たないで、下の図のように画面下部を両手で持ってください。また、液晶パネル面に手が触れないようご注意ください。



ここを持つ

- ・ 本製品を設置するときは、次の点に注意してください。
 - 窓際へ設置する場合は、画面に直接太陽光が当たらないようにしてください。液晶パネルを傷める場合があります。
 - 液晶パネルの表面は外光の映り込みを低減する低反射処理を行っていますが、外光の映り込みが気になる場合は、ディスプレイの向き角度を調節してください。
 - テレビやラジオ、衛星放送チューナーなどのそばに設置すると、受信の障害となる場合がありますので、遠ざけてご使用ください。
 - 本製品の近くで、携帯電話やトランシーバーなどを使用すると、画面が乱れたり、異音が発生したりする場合がありますので、遠ざけてご使用ください。
 - 本製品のスタンドの設置面には、台足を使用しております。台足の特性上、長時間同じ場所に設置していると、ご使用のテーブルや家具などに台足が吸着することがあります。
- ・ 本製品の各ケーブルを抜き差しするときは、誤動作することがありますので、必ず先にコンピューター本体の電源を切ってください。
- ・ 本製品の各ケーブルが引っ張られた状態で使用しないでください。故障や誤動作の原因となることがあります。

警告

- ・ 本製品の内部には高電圧部分がありますので、分解しないでください。

注意

- ・ 映画などの動画をお楽しみいただくときは、周囲を十分に明るくし、なるべく離れてご覧ください。また、画面が明るすぎると感じたときは、「明るさ」を調整してください。

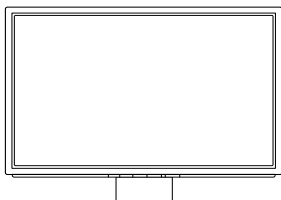
目次

| | |
|---------------------------------------|-----------|
| はじめに | 1 |
| 安全上のご注意 | 5 |
| 使用上のご注意 | 9 |
| 目次 | 11 |
| 1 製品を確認してください | 13 |
| 2 本製品の特長 | 14 |
| 3 各部の名称と機能 | 16 |
| 4 液晶ディスプレイの設置と接続 | 18 |
| 接続の前に | 18 |
| ベーススタンドを取り付ける | 18 |
| 本製品を設置する | 19 |
| コンピューター本体と接続する | 20 |
| 盗難防止 | 20 |
| アームまたは壁掛けキットの取り付け方法 | 22 |
| スタンドの取り付け方法 | 24 |
| 5 ディスプレイドライバー（INF ファイル）のインストール | 25 |
| 初めて電源を入れるとき | 25 |
| 最新の INF ファイルをダウンロードしてインストールする | 25 |
| 6 液晶ディスプレイのセットアップ | 26 |
| AUTO セットアップアクション機能 | 26 |
| エコモード機能 | 26 |
| 細かい設定を行う | 27 |
| 調整項目の内容 | 28 |
| 入力切り換えについて | 29 |
| 7 省電力機能 | 30 |
| 8 こんなときには | 31 |
| 画面が表示されない | 31 |
| 画面がおかしい | 32 |
| 画面が調節できない | 33 |
| 音が聞こえない／変な音が聞こえる | 34 |
| お問い合わせ先 | 35 |
| 9 日常のお手入れ | 36 |
| 清掃する | 36 |
| 10 リサイクル | 37 |
| 11 仕様 | 38 |

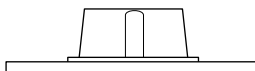
| | |
|--------------|----|
| 本体仕様 | 38 |
| 標準表示仕様 | 39 |
| コネクタ仕様 | 40 |
| 外形図 | 41 |

1 製品を確認してください

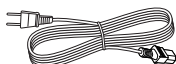
梱包箱から製品を取り出し、製品が揃っていることを確認してください。万一足りないものがあつた場合は、おそれいりますが、ご購入元にご連絡ください。



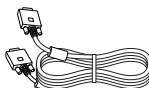
カラー液晶ディスプレイ本体



ベーススタンド



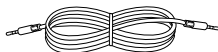
電源ケーブル



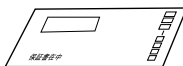
デジタルケーブル



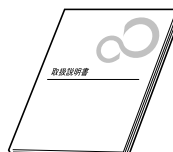
アナログケーブル



オーディオケーブル



保証書



取扱説明書

重要

▶ 電源コードセットについて

製品には、同梱された電源コードセットを使用してください。

また、同梱された電源コードセットは、他の製品には使用しないでください。

2 本製品の特長

1 大画面・高解像度・省スペース

- ・事務処理のみならず、CAD ユース、小人数のプレゼンテーションなどマルチに使える 19 型ワイドの大画面です。
- ・1440 × 900 ドットの解像度で最適に表示されます。
- ・スタイリッシュな狭額縁デザインを採用し、また奥行きも少ないため、ワークスペースを広く使えます。

2 節電機能（エコモード）

ワンタッチで明るさを変更（レベル 65）にしたりすることができます。必要な明るさに調節することで、目への負担も軽減できます。

3 スピーカー内蔵

ステレオスピーカーを内蔵し、立体感のあるサウンドでマルチメディア環境を実現します。

4 sRGB 対応

ディスプレイとプリンター／スキャナー／デジタルカメラなどの機器との色再現性を合わせる国際規格である、sRGB での表示が可能です。

POINT

- ▶ sRGB とは、ディスプレイ／スキャナー／デジタルカメラなど周辺機器どうしの色再現性や、プリンターで出力するときの色を合わせることを目的にした、色の表現範囲を規定するための国際規格です。

sRGB の設定については「細かい設定を行う」（→ P.27）をご覧ください。

5 DDC/CI 対応

本製品は、VESA の DDC/CI（Display Data Channel Command Interface）規格に対応しています。パソコン本体が DDC/CI 規格に対応している場合は、DDC/CI 機能を使って画面を設定できます。

6 親切的自動調整機能

初めて入力された解像度（モード）でも、本製品が検知して自動的に調整しますので、解像度（モード）を変更しても、すぐに最適な画面でご使用になれます。

7 多彩な設置方法

本製品は VESA の FDMI 規格に対応しています。FDMI 規格に準拠したアームまたは壁掛けキットに取り付けることができます。

POINT

- ▶「VESA FDMI」とは「VESA Flat Display Mounting Interface」の略で、液晶ディスプレイをアームまたは壁掛けキットに取り付けるインターフェースです。
インターフェースとしては 75mm × 75mm と 100mm × 100mm の 2 種類あります。
本製品は、100mm × 100mm に対応しています。

8 グリーン製品

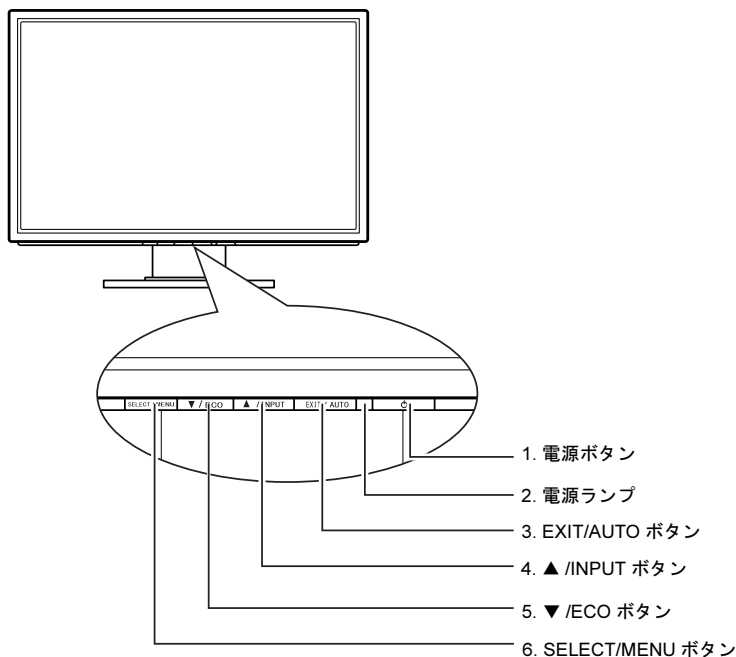
省エネルギー、リサイクルしやすい材料の採用など、環境にやさしい設計です。

このマークは富士通株式会社のグリーン製品の評価基準に適合した製品に表示しています。



3 各部の名称と機能

■ 前面



1 電源ボタン (🔌)

本製品の電源オン／オフを切り換えます。

2 電源ランプ

本製品の電力状態を表します。

3 EXIT/AUTO ボタン

メニュー画面を消すとき、調整項目、設定値を取り消すときに押します。
メニューが表示されていないときに長押しすると、自動調整が実行されます。

4 ▲ /INPUT ボタン

メニュー画面上で各項目や設定値を変更するときに押します。
メニューが表示されていないときに長押しすると、入力を切り換える事ができます。

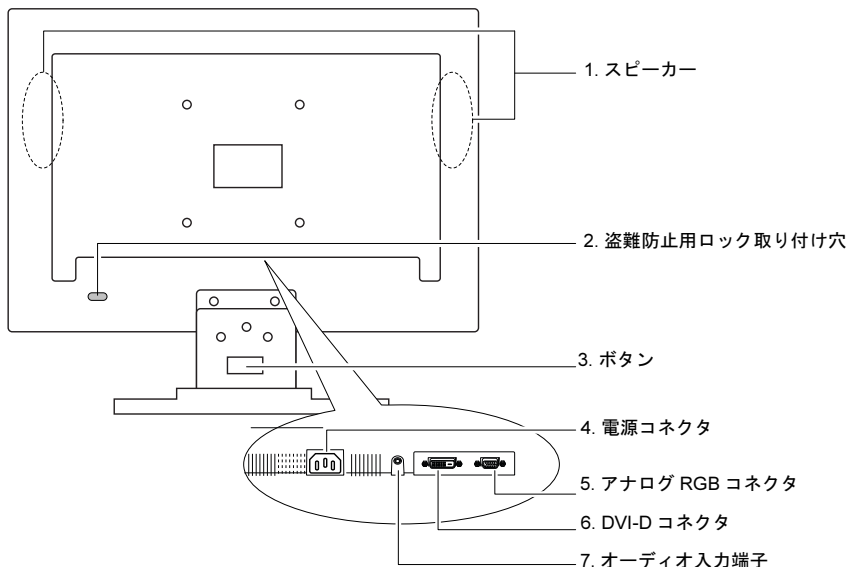
5 ▼ /ECO ボタン

メニュー画面上で各項目や設定値を変更するときに押します。
メニューが表示されていないときに長押しすると、エコモードのオン / オフを切り換える事ができます。

6 SELECT/MENU ボタン

メニュー画面を表示、調整項目を選択するときに押します。

■ 背面



1 スピーカー

音声を出力します。

2 盗難防止用ロック取り付け穴

市販の盗難防止用ケーブルを取り付けることができます。

3 ボタン

液晶パネルとベーススタンドの取り付け／取り外しをするときに押します。

4 電源コネクタ

添付の電源ケーブルを接続します。

5 アナログ RGB コネクタ

コンピューター本体とアナログケーブルで接続します。

6 DVI-D コネクタ (HDCP 対応)

コンピューター本体と添付のデジタルケーブルで接続します。

POINT

▶ HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、DVI を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護システムのことをいいます。

HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。

本製品は、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを表示することができます。

7 オーディオ入力端子

コンピューター本体と添付のオーディオケーブルで接続します。

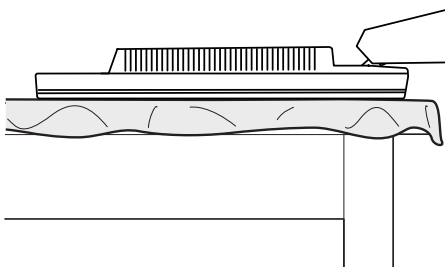
4 液晶ディスプレイの設置と接続

接続の前に

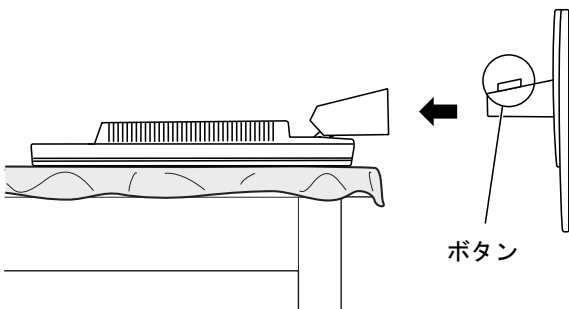
- すべての接続が終了するまで、本製品とコンピューター本体の電源は入れないでください。
- 本製品の電源ケーブルをコンセントに接続する場合、本製品の電源を入れた後、コンピューター本体の電源を入れてください。
- 本製品の仕様と、コンピューター本体の仕様を確認してから、接続してください。
「標準表示仕様」(→ P.39)

ベーススタンドを取り付ける

- 1 カバーや液晶パネルに傷が付かないように、柔らかい布などを敷いた安定した場所に、液晶パネル面を下に向けて置きます。

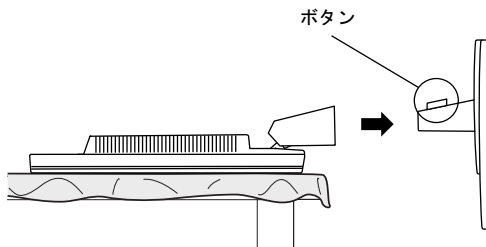


- 2 ベーススタンドのボタンをスタンドに差し込むようにして、カチッと音がするまで押し込みます。
ボタンは確実にはめ込んでください。



POINT

- ▶ ベーススタンドを取り外す場合は、ベーススタンドのボタンを押しながらベーススタンドを手前に引きます。



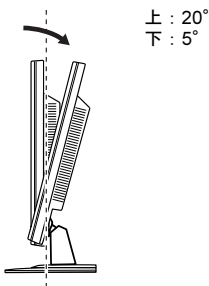
本製品を設置する

⚠ 注意

- ・ ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、本製品が落ちて破損やけがのおそれがあります。本製品を設置する場合は、安定した場所に設置してください。
- ・ テレビやラジオ、衛星放送チューナーなどのそばに設置すると、受信の障害となる場合がありますので、遠ざけてご使用ください。

POINT

- ▶ VESA FDMI 規格対応のアームまたは壁掛けキットを使用して設置する場合は、「アームまたは壁掛けキットの取り付け方法」(→ P.22)をご覧ください。
- ▶ 画面の角度調節について
ディスプレイの上下・左右の角度を調節するときは、ディスプレイの両端を掴み、任意の角度に調節してください。



⚠ 注意

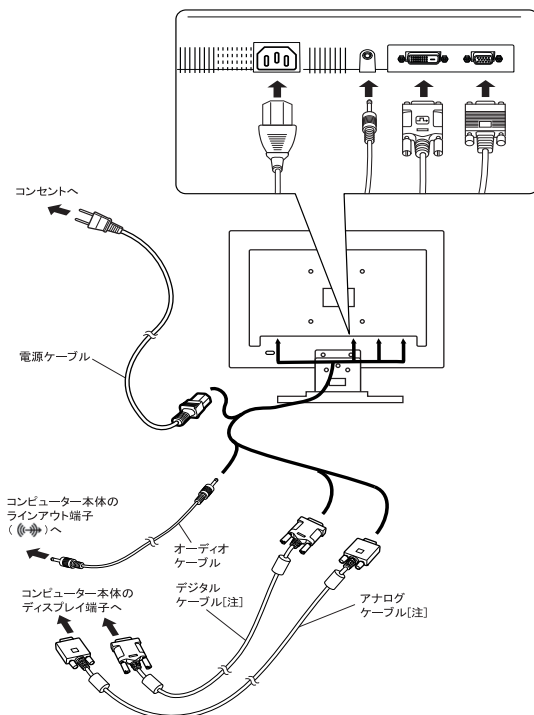
- ・ ディスプレイの上下の角度を調節するときに、ディスプレイ下部とスタンドの間に指をはさむおそれがありますので、ご注意ください。けがの原因となることがあります。
- ・ 上図に示す角度を超えて無理な力を加えると、故障の原因となりますのでご注意ください。

コンピューター本体と接続する

コンピューター本体の電源を入れる前に、コンピューター本体と本製品とが正しく接続されていることを確認してください。

1 ケーブルを接続します。

電源ケーブルをコンセントに接続します。



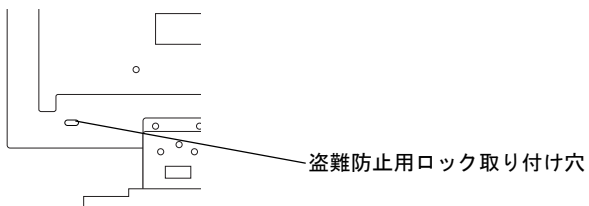
盗難防止

⚠ 注意

- ・ 本製品はコンセントの近くに設置し、異常が発生したときに、すぐに対応できるようにしてください。
- ・ 万一、異常が発生した場合は、本製品の電源を切り、その後電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

本製品の背面には、盗難防止用ロック取り付け穴があります。

市販の盗難防止用ケーブルを接続できます。



アームまたは壁掛けキットの取り付け方法

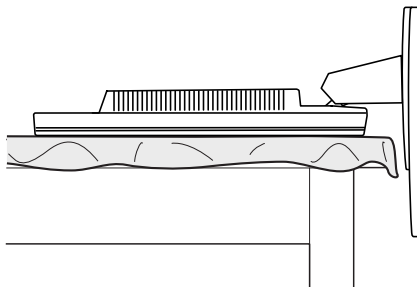
本製品はスタンドを取り外して、VESA FDMI 規格対応のアームまたは壁掛けキットを取り付けることができます。
ドライバーをご用意ください。

重要

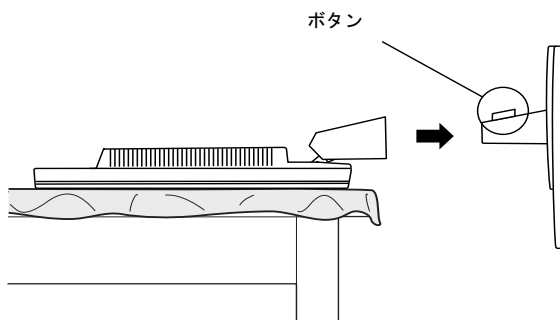
- ▶ 本製品に取り付けるアームまたは壁掛けキットは、VESA FDMI 規格に適合したものをお選びください。
- ▶ 本製品に取り付けられるアームまたは壁掛けキットは、次の条件を満たしている必要があります。
 - ・ 取り付け部分のネジ穴の間隔が 100mm × 100mm である
 - ・ M4 × 10mm のネジで、取り付けができる
 - ・ 8kg の重さに耐えられる
- ▶ ネジは、VESA FDMI規格対応のアームまたは壁掛けキットに添付されているもの(M4 × 10mm)を必ず使用してください。
- ▶ ネジは最後までしっかりと締めてください。取り付け方が不十分な場合、外れて落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- ▶ アームまたは壁掛けキットを取り付けおよび設置するときは、アームまたは壁掛けキットのマニュアルもご覧ください。

1 すでにケーブルを接続している場合は、いったんすべてのケーブルを取り外します。

2 カバー／液晶パネルに傷が付かないように、柔らかい布などを敷いた安定した場所に、液晶パネル面を下に向けて置きます。

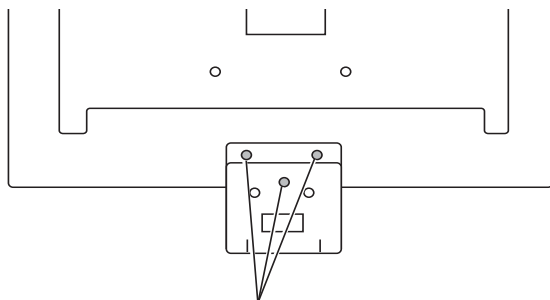


3 ベーススタンドのボタンを押しながら、ベーススタンドを取り外します。



4 ネジ (3ヶ所) を取り外します。

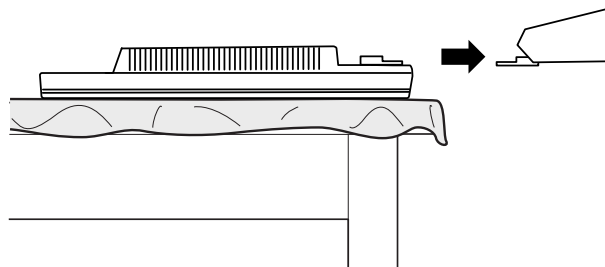
取り外したネジは、ベーススタンド使用時に必要ですので大切に保管してください。



ドライバーでネジを外す (3ヶ所)

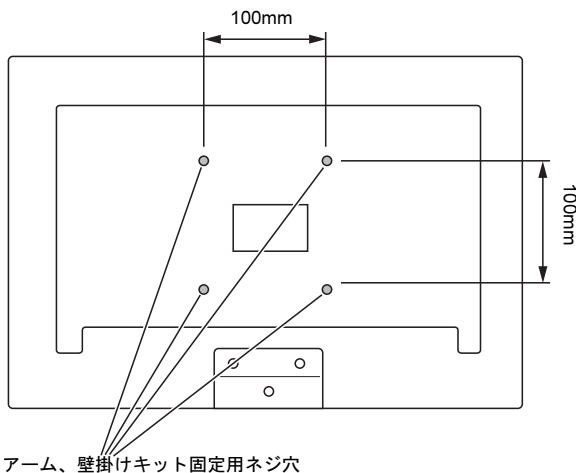
5 ベーススタンド取り付け金具を取り外します。

取り外したベーススタンド取り付け金具は、ベーススタンド使用時に必要ですので大切に保管してください。



6 本製品をアームや壁掛けキットに取り付けます。

本製品のアーム、壁掛けキット固定用ネジ穴（4ヶ所）に、アームまたは壁掛けキットのネジ穴を合わせ、アームまたは壁掛けキットに添付されているネジ 4 本（M4 × 10mm）で取り付けてください。



7 アームまたは壁掛けキットを設置した後、ケーブルを接続します。

「コンピューター本体と接続する」(→ P.20)

POINT

- ▶ アームまたは壁掛けキットを設置した後で、本製品背面のコネクタにケーブルを接続できない場合は、アームまたは壁掛けキットを設置する前にケーブルを接続してください。

スタンドの取り付け方法

アームまたは壁掛けキットを外してスタンドを使用する場合は、「アームまたは壁掛けキットの取り付け方法」(→ P.22) の逆の手順でスタンドを取り付けてください。

5 ディスプレイドライバー (INF ファイル) のインストール

初めて電源を入れるとき

コンピューター本体に接続後、最初の電源投入時に、本製品のドライバー (INF ファイル) のインストールを要求されることがあります。この場合、画面の指示に従って一度「プラグアンドプレイモニタ」として設定を完了させ、その後ドライバーのダウンロード／インストールを行ってください。

POINT

- ▶ お使いの OS の INF ファイルがない場合は、そのまま「プラグアンドプレイモニタ」としてご使用ください。

最新の INF ファイルをダウンロードしてインストールする

最新のドライバー (INF ファイル) は、富士通製品情報ページ (http://www.fmworld.net/biz/fmv/index_support.html) よりダウンロードできます。「ドライバダウンロード」をクリックし、「ディスプレイ INF ファイル／タッチパネルドライバ」からお使いの型名を検索、ダウンロードし、インストールしてください。

6 液晶ディスプレイのセットアップ

AUTO セットアップアクション機能

本製品は、次のとき、最適な表示を得られるように画面位置、水平サイズなどを自動調整します。

- ・ 初めて液晶ディスプレイを本体に接続したとき
- ・ 今までに入力されたことのない解像度（モード）が設定されたとき

重要

- ▶ AUTO セットアップアクションは、本製品の対応する解像度（モード）でのみ動作します（→ P.39）。
- ▶ 一度調整された解像度（モード）は、設定値が本製品に記憶されるので、記憶後は AUTO セットアップアクションは動作しません。
- ▶ AUTO セットアップアクションは、画面全体が暗い色に設定されている場合、動作しないことがあります。その場合は、コンピューター本体で画面の背景を白色に設定してから、メニュー画面で自動調整を行ってください。
- ▶ デジタルケーブルでの接続の場合は、AUTO セットアップアクションおよび自動調整は動作しません。

エコモード機能

本製品には、画面の明るさを抑え消費電力を低減する「エコモード」機能が搭載されています。

■エコモード

エコモードとは、画面の明るさを抑え消費電力を削減する機能です。

エコモードを切り換えるときは「▼/ECO」ボタンを長押ししてください

「▼/ECO」ボタンを押すごとに「オン」と「オフ」が切り換わります。



| モード名 | 機能 |
|------|--|
| エコオン | ご購入時の設定です。画面の明るさレベルを 65 に合わせた状態で画面表示します。 |
| エコオフ | メニュー画面の「明るさ」で調整した明るさで画面表示します。 |

重要

- ▶ 設定時に明るさ調整を行うと、エコモードは「エコオフ」に設定されます。

細かい設定を行う

本製品はメニュー画面でさまざまな設定を行うことができます。設定には「SELECT/MENU」ボタン、「▼/ECO」ボタン、「▲/INPUT」ボタン、「EXIT/AUTO」ボタンを使用します。

■ メニュー画面の基本的な操作

□ ボタンの基本機能

SELECT/MENU

- ・ メニュー画面の表示
- ・ 調整項目の決定

▼/ECO

- ・ メニュー画面が表示されている場合
- ・ 調整項目の選択
- ・ 設定値の調整
- ・ メニュー画面が表示されていない場合
- ・ エコモード切り換え（長押し）

▲/INPUT

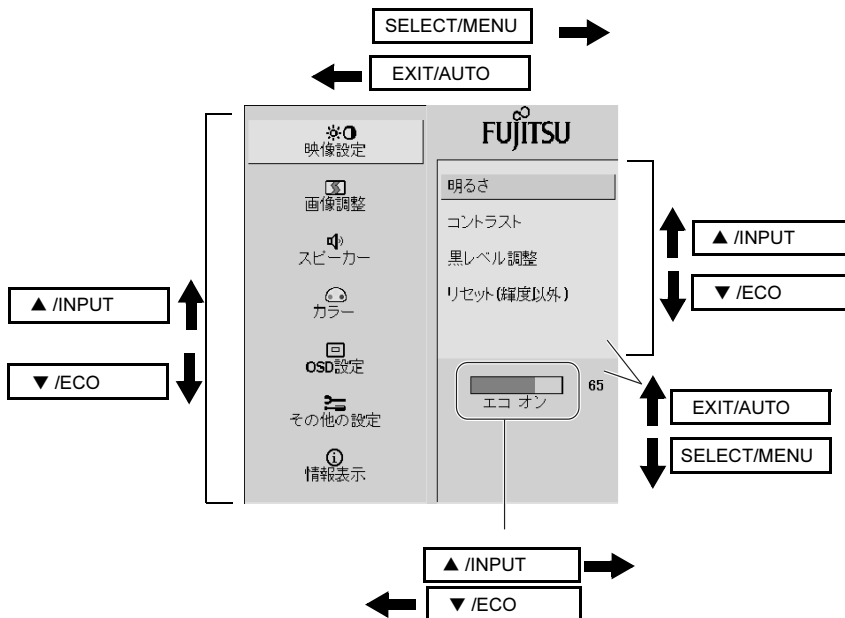
- ・ メニュー画面が表示されている場合
- ・ 調整項目の選択
- ・ 設定値の調整
- ・ メニュー画面が表示されていない場合
- ・ 入力切換（長押し）

EXIT/AUTO

- ・ メニュー画面が表示されている場合
- ・ メニュー画面の消去
- ・ 調整項目の取り消し
- ・ 設定値の取り消し
- ・ メニュー画面が表示されていない場合
- ・ 自動調整（長押し）

□ 操作方法

設定を変更するときにそれぞれのボタンを押すと、選択項目が次のように移動します。解像度を変更しても、保存された設定内容で画面が表示されます。



調整項目の内容

| 名称 | 機能 |
|----------|---|
| 明るさ | 画面全体の明るさを調整します。 |
| コントラスト | 画面全体の濃淡の強さ（コントラスト）を調整します。 |
| 黒レベル調整 | 黒色のレベルを任意に設定できます。 |
| リセット | コントラストと黒レベルをご購入時の設定に戻します。 |
| 水平位置 | 表示画面の水平位置を左右に調整します。 |
| 垂直位置 | 表示画面の垂直位置を上下に調整します。 |
| 水平サイズ | 帯状（縦）のノイズが発生する場合に調整します。 |
| フォーカス | 文字のにじみや画面の水平方向のノイズが発生する場合に調整します。 |
| シャープネス | 画面のシャープネスを調整します。 |
| 音量 | スピーカーの音量を調整します。 |
| ミュート | ミュートのオン／オフを選択できます。 |
| カラー | 色温度を選択できます。 |
| | sRGB 色温度を sRGB に設定します |
| | 6500K 色温度を 6500K に設定します |
| | 7500K 色温度を 7500K に設定します |
| | 9300K 色温度を 9300K に設定します |
| | ネイティブ 色温度をパネル固有の値に設定します。 |
| | ユーザー 色温度を任意に調整します。 |
| 言語 | OSD の表示言語を選択できます。 |
| | 日本語 OSD メニューやメッセージを日本語で表示します。 |
| | English OSD メニューやメッセージを英語で表示します。 |
| OSD 水平表示 | OSD メニューの水平位置を調整します。 |
| OSD 垂直表示 | OSD メニューの垂直位置を調整します。 |
| OSD 表示時間 | OSD メニューの表示時間を調整します。 |
| 入力切換 | アナログ入力とデジタル入力を切り換えます。 |
| | アナログ アナログ入力を有効にします。 |
| | デジタル デジタル入力を有効にします。 |
| DDC/CI | VESA DDC/CI をオン／オフします。 本製品は、VESA（Video Electronics Standards Association）の DDC/CI（Display Data Channel Command Interface）規格に対応しています。 |
| ACR | ACR 機能をオン／オフします。 |
| リセット | すべての項目をご購入時の設定に戻します。 |
| 情報表示 | 現在入力されている解像度と周波数、入力コネクタなどを表示します。 |

POINT

▶省電力状態になると、スピーカーからの音声出力が停止します。

入力切り換えについて

本製品には2つの入力コネクタ（アナログ RGB コネクタ：「アナログ入力」、および DVI-D コネクタ：「デジタル入力」）があります。
パソコン本体を接続し直した場合、表示は自動で切り換わります。自動で切り換わらない場合は、次の手順で切り換えてください。

- 1** 「▲/INPUT」ボタンを長押しして、入力切換メニューを表示します。
- 2** 「▼/ECO」ボタン、「▲/INPUT」ボタンを押して、入力先を選択します。

7 省電力機能

本製品はコンピューターの省電力機能に対応しています。この機能は、マウスおよびキーボードが一定時間操作されないと、画面の表示を中断し、電力の消費を抑えます。

省電力状態では、画面の表示が中断し、本製品の電源ランプはオレンジ色に点灯します。省電力状態から元の状態に戻すには、キーボードのいずれかのキーを押すかマウスを動かします。

本製品は、コンピューター本体の制御に応じて、次の表に示すいずれかの状態に移行します。移行時には画面に「節電に入ります」というメッセージが表示されます。コンピューター本体の省電力機能については、コンピューター本体のマニュアルをご覧ください。

| | | 最大時 ^{注1} | エコオン時 | 省電力動作時 | | | 電源ボタンオフ時 |
|------|--------|-------------------|-------|--------|------|------|--------------------|
| 消費電力 | | 25W | 19W | 0.5W | | | 0.5W ^{注2} |
| 入力信号 | 映像 | あり | あり | なし | なし | なし | — |
| | 水平同期信号 | あり | あり | なし | あり | なし | — |
| | 垂直同期信号 | あり | あり | あり | なし | なし | — |
| 動作 | 画面表示 | 表示あり | 表示あり | 表示なし | 表示なし | 表示なし | 表示なし |
| | 電源ランプ | 青 | 緑 | オレンジ | オレンジ | オレンジ | 消灯 |

注1:「最大消費時」とは、スピーカーの出力を最大にして使用した場合です。

注2: 電源ボタン「オフ」時の消費電力は、電源プラグをコンセントから抜くことにより、避けることができます。

8 こんなときには

本製品のご使用中に何か困ったことが起きた場合は、次の内容をお調べください。お客様からお問い合わせの多いトラブルに関する症状、原因、対処方法を記載しています。問題が解決できない場合は、ご購入元にご確認いただくか、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.35）にご相談ください。

画面が表示されない

| 症状 | 考えられる原因 | 対処方法 | 参照ページ |
|---|--|---|-------------------------------------|
| 電源ランプが消灯している | 電源ケーブルが正しく接続されていない。 | 電源ケーブルを本製品の電源コネクタとコンセント（またはコンピューター本体のアウトレット）に正しく奥まで確実に接続してください。 | 「コンピューター本体と接続する」（→ P.20） |
| | 本製品の電源が入っていない。 | コンピューターの電源が入っていることを確認し、本製品の電源を入れてください。 | 「各部の名称と機能」（→ P.16） |
| | コンピューターが省電力状態になっている（本製品の電源ケーブルをコンピューター本体のアウトレットに接続している場合）。 | コンピューター本体の省電力機能の設定を確認してください。 | コンピューター本体のマニュアル |
| 電源ランプがオレンジ色に点灯しており、「INPUT/SELECT」ボタンを押すと「節電に入ります」のメッセージが表示される | コンピューターが省電力状態になっている | キーボードのどれかのキーを押すかマウスを動かしてください。省電力状態が解除されます。 | 「省電力機能」（→ P.30） |
| | アナログケーブル、またはデジタルケーブルが本製品またはコンピューター本体に、正しく接続されていない。 | 本製品とコンピューター本体にアナログケーブル、またはデジタルケーブルを正しく接続してください。 | 「コンピューター本体と接続する」（→ P.20） |
| 電源ランプが点灯するが、画面が表示されない場合によっては次のメッセージも表示される「規定外の信号です」「入力信号がありません」 | コンピューター本体の設定が標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。 | コンピューター本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。 | 「標準表示仕様」（→ P.39） コンピューター本体のマニュアル |
| | 入力が切り換わっている。 | 入力切り換えを行ってください。 | 「入力切り換えについて」（→ P.29） |
| | アナログケーブル、またはデジタルケーブルが本製品またはコンピューター本体に、正しく接続されていない。 | 本製品とコンピューター本体にアナログケーブル、またはデジタルケーブルを正しく接続してください。 | 「コンピューター本体と接続する」（→ P.20） |

画面がおかしい

| 症状 | 考えられる原因 | 対処方法 | 参照ページ |
|--------------------------------|--------------------------------------|---|---|
| 画面が明るすぎる | 明るさの設定値が大きすぎる。 | メニュー画面より明るさを調整してください。 | 「調整項目の内容」 (→ P.28) |
| 画面が暗くなった | エコモードが「エコオン」になっている。 | エコボタンを押して、「エコオフ」に設定してください。 | 「エコモード機能」 (→ P.26) |
| | 液晶パネル内部の蛍光管が、長期使用で暗くなっている。 | 有償にて交換させていただきます。詳しくは「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」まで連絡してください。 | 「お問い合わせ先」 (→ P.35) |
| 画面いっぱいに表示されない。 | 画面位置の調整が適切でない。 | 水平サイズの調整を行った後に画面位置の調整を行ってください。 | 「調整項目の内容」 (→ P.28) |
| 画面の縦横比が崩れてしまう | コンピューター本体の設定が推奨解像度以外の解像度（モード）になっている。 | コンピューター本体の設定を推奨解像度（モード）に設定してください。 | 「標準表示仕様」 (→ P.39) コンピューター本体のマニュアル |
| 格子状の模様が見えないことがある(アナログ接続時のみ) | フォーカスが合っていない。 | フォーカスを調整してください。 | 「調整項目の内容」 (→ P.28) |
| 帯状のしま模様(縦)が見えることがある(アナログ接続時のみ) | 水平サイズの調整が適切でない。 | 水平サイズの調整をしてから、フォーカスの調整をしてください。 | 「調整項目の内容」 (→ P.28) |
| 画面がはみ出る(アナログ接続時のみ) | 画面位置の調整が適切でない。 | 水平サイズの調整を行った後に画面位置の調整を行ってください。 | 「調整項目の内容」 (→ P.28) |
| | 標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。 | コンピューターの設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。 | 「標準表示仕様」 (→ P.39) コンピューター本体のマニュアル |

| 症状 | 考えられる原因 | 対処方法 | 参照ページ |
|---|--------------------------------|--|---|
| 次のメッセージが表示される「サポート外のモードです」 | 本製品に適切な信号が入力されていない。 | コンピューターの設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。 | 「標準表示仕様」 （→ P.39） コンピューター本体のマニュアル |
| 文字の太さが場所によって異なる 画面の内容が大きくぼけて表示される | 1440×900よりも低い解像度（モード）になっている。 | デジタル処理で擬似的に拡大表示しているので文字の太さが異なる場合があります。 最適な画面にするには「画面の設定」または「画面のプロパティ」で解像度（モード）を1440×900に設定してください。 | コンピューター本体のマニュアル |
| | フォーカス、水平サイズの調整が適切でない（アナログ接続時）。 | 水平サイズの調整をしてからフォーカスの調整をしてください。 | 「調整項目の内容」 （→ P.28） |
| 電源投入直後やコンピューターの起動時または終了時に画面が点滅したり、乱れたりすることがある | コンピューターからの信号が連続的に切り換わるために起こる。 | 故障ではありませんので、そのままお使いください。 | — |
| 表示画面にむらがある（もやもやしている） | 液晶パネルの表面を押した。 | 本製品の電源を切り、その後電源を入れてください。 | 「各部の名称と機能」（→ P.16） |

画面が調節できない

| 症状 | 考えられる原因 | 対処方法 | 参照ページ |
|--|--------------------------|---|--|
| メニュー画面の自動調整より調整ができず、次のメッセージが表示される「サポート外のモードです」 | 標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。 | メニュー画面の情報表示で、現在表示されている解像度（モード）を確認し、コンピューター本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。 | 「調整項目の内容」 （→ P.28） 「標準表示仕様」 （→ P.39） コンピューター本体のマニュアル |

音が聞こえない／変な音が聞こえる

| 症状 | 考えられる原因 | 対処方法 | 参照ページ |
|-----------------------|---|---|--------------------------|
| スピーカーから音が聞こえない | ミュートがオンになっている。 | メニュー画面より、ミュートをオフにしてください。 | 「調整項目の内容」(→ P.28) |
| | 音量が小さすぎる。 | 「SELECT/MENU」ボタンでメニュー画面を表示させ、「スピーカー」メニューで音量を調整してください。 | 「各部の名称と機能」(→ P.16) |
| | 画面の音量つまみが最小になっている。 | 適切な音量に調整してください。 | コンピューター本体のマニュアル |
| | コンピューター本体の音量設定がミュートになっている | 画面右下の通知領域の「音量アイコン」をクリックして音量つまみを表示し、ミュートの設定を解除してください。 | コンピューター本体のマニュアル |
| | 本製品が省電力モードになっている。 | 省電力時には音声出力を止める仕様となっております。 | 「省電力機能」(→ P.30) |
| | オーディオケーブルが正しく接続されていない。 | オーディオケーブルが本製品とコンピューター本体の適切な場所に接続され、しっかりと奥まで差し込まれていることを確認してください。 | 「コンピューター本体と接続する」(→ P.20) |
| スピーカーからブツブツという雑音が聞こえる | 本製品の近くで携帯電話、トランシーバーなどの電波を発生する装置を使用している。 | 故障ではありません。携帯電話、トランシーバーなどを本製品から離してお使いになるか、使用をおやめください。 | — |
| 電源投入時などに「ブチッ」とノイズ音がする | オーディオ回路の出力信号が不安定なため発生します。 | 故障ではありませんので、そのままお使いください。 | — |

お問い合わせ先

次のお問い合わせ先へご相談ください。

| こんなときには | こちらへ |
|-------------|--|
| 故障かなと思われたとき | <法人のお客様> 富士通ハードウェア修理相談センター 通話料無料 0120-422-297 受付時間 9:00～17:00（土曜、日曜、祝日および年末年始を除く） |
| | <個人のお客様> 故障や修理に関する受付窓口 通話料無料 0120-926-220 受付時間 24時間・365日対応 |
| 技術的なご質問、ご相談 | 富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口 通話料無料 0120-950-222 受付時間 9:00～17:00（土曜、日曜、祝日を除く） |

- ・おかけ間違いのないよう、ご注意ください。
- ・各窓口ともダイヤル後、音声ガイダンスに従い、ボタン操作を行ってください。
お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。
- ・システムメンテナンスのため、お問い合わせ時間であっても受け付けを休止させていた
だく場合があります。

9 日常のお手入れ

清掃する

お手入れの前に本製品の電源を切り、本製品の各ケーブルをコンセントまたはコンピューター本体から抜いてください。

重要

- ▶ 化学ぞうきんや市販クリーナーは、次の成分を含んだものがあり、画面の表面コーティングやカバーを傷つける場合がありますので、使用しないでください。
 - ・アルカリ性成分を含んだもの
 - ・界面活性剤を含んだもの
 - ・アルコール成分を含んだもの
 - ・シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
 - ・研磨材を含んだもの
- ▶ 本製品を清掃するときには、傷が付くのを防ぐため次の点にご注意ください。
 - ・柔らかい布をご使用ください。
 - ・力を入れすぎないようにしてください。
- ▶ 清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。

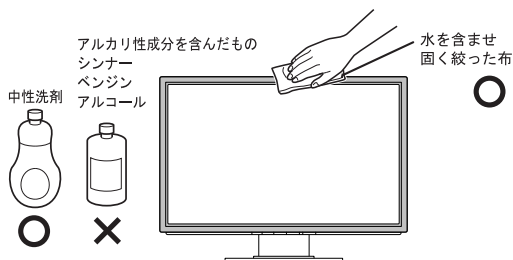
□ 画面

ガーゼなどの柔らかい布で拭いてください。



□ カバー

水または中性洗剤を含ませ、固く絞った布で拭いてください。中性洗剤を使用した場合は、水に浸して固く絞った布で、中性洗剤を拭き取ってください。また、拭き取るときは、本製品に水が入らないように充分注意してください。



10 リサイクル

■ 本製品の廃棄について

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

- ・ 液晶ディスプレイ内の蛍光管には水銀が含まれております。

- ・ 法人、企業のお客様へ

本製品の廃棄については、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」
（<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html>）をご覧ください。

- ・ 個人のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、お申し込みホームページ（<http://azby.fmworld.net/recycle/>）をご覧ください。

11仕様

本体仕様

| 項目 | | 仕様 |
|----------------------|--------------------|--|
| 接続 PC 本体 | | ESPRIMO、LIFEBOOK、AT 互換機 |
| 入出力 I/F 注1 (コネクタ) | アナログ RGB コネクタ | 映像信号：アナログ（セパレート同期信号/TTL） 0.7Vp-p（正極性）、75Ω インピーダンス |
| | DVI-D コネクタ | 映像信号：デジタル（TMDS/HDCP 対応） |
| | オーディオ入力端子 | 1Vrms（typ）、10kΩ インピーダンス |
| 表示部 | 画面サイズ | 19 型（対角 48cm） |
| | 表示寸法 | 409mm（H）× 256mm（V） |
| | 液晶パネル | TFT カラー液晶 |
| | 解像度 | 1440 × 900 ドット |
| | 画素ピッチ | 0.284mm × 0.284mm |
| | 表示色 | 1677 万色 |
| | 輝度 | 300cd/m ² (Typ.) |
| 機能 | 表示モード | VGA：640 × 480 |
| | | SVGA：800 × 600 |
| | | XGA：1024 × 768 |
| | | WXGA：1440 × 900 |
| | | その他：720 × 400 |
| | チルト | 下－5 度～上 20 度 |
| 電源 | 入力 | AC100V 50/60Hz（入力波形は正弦波のみサポート） |
| | 最大消費電力注2 | 25W |
| | 通常消費電力注2 | エコ「オン」時 約 19W |
| | 最小消費電力 (省電力状態時) | 0.5W |
| | 電源「オフ」時注3 | 0.5W |
| スピーカー | 出力 | 1W × 2 8Ω インピーダンス |
| | 周波数特性 | 380Hz ～ 20kHz |
| 寸法 | | 443mm（W）× 356mm（H）× 200.3mm（D） |
| 質量 | | 約 4.2kg（本体） 約 3.8kg（表示部） |
| 使用環境 | 温度 | 5 ～ 35℃ |
| | 湿度 | 10 ～ 90%（結露しないこと） |

注 1：本製品は、VESA（Video Electronics Standards Association）の DDC/CI（Display Data Channel Command Interface）規格に対応しています。

注 2：「最大消費電力」の値はスピーカーを使用している場合です。「通常消費電力」の値はスピーカーを使用しない場合です。

注 3：電源ボタン「オフ」時の消費電力は、電源ケーブルをコンセントから抜くことで避けることができます。

標準表示仕様

本製品には、ご購入時に下表の9種類の解像度（モード）の調整値が登録されています。
（走査方式がインターレースの信号は対応していません。）

○：表示可能 ◎：推奨解像度（モード）

| No | 解像度（モード） | 水平周波数 | 垂直周波数 | 極性（H/V） | 表示可能解像度（モード） |
|----|------------|---------|-------|---------|--------------|
| 1 | 640 × 480 | 31.5kHz | 60Hz | （－ / －） | ○ |
| 2 | 640 × 480 | 37.5kHz | 75Hz | （－ / －） | ○ |
| 3 | 720 × 400 | 31.5kHz | 70Hz | （－ / ＋） | ○ |
| 4 | 800 × 600 | 37.9kHz | 60Hz | （＋ / ＋） | ○ |
| 5 | 800 × 600 | 46.9kHz | 75Hz | （＋ / ＋） | ○ |
| 6 | 1024 × 768 | 48.4kHz | 60Hz | （－ / －） | ○ |
| 7 | 1024 × 768 | 60.0kHz | 75Hz | （＋ / ＋） | ○ |
| 8 | 1440 × 900 | 55.9kHz | 60Hz | （－ / ＋） | ◎ |
| 9 | 1440 × 900 | 70.6kHz | 75Hz | （－ / －） | ○ |

重要

- ▶ 接続するコンピューターの種類により、表示位置などが多少ずれることがあります。その場合は、メニュー画面より自動調整を行ってください。自動調整で調整しきれない場合は、メニュー画面から手動で調整してください。コンピューター側での微調整は行わないでください。
- ▶ 上表以外の解像度（モード）にコンピューターを設定すると、正常に表示されなくなる場合があります。
- ▶ 1440 × 900 以外の解像度（モード）では、文字の輪郭がはっきり見えなかったり、細かなストライプの太さが揃わなかったり、縦横比が異なって画像などにゆがみが発生することがあります。これは、擬似的に拡大表示（全画面表示）しているためであり、故障ではありません。
- ▶ 上表の解像度（モード）であっても、スキャンコンバーターで表示された NTSC 信号については表示品位を保証するものではありません。

コネクタ仕様

■ディスプレイコネクタ

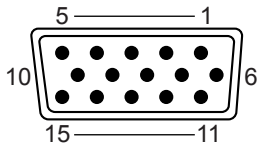
□ アナログ（ミニ D-Sub15 ピン・コネクタ）

端子配列表

| No. | 信号 | No. | 信号 | No. | 信号 |
|-----|-------|------|------|------|-----------|
| (1) | R（映像） | (6) | アース | (11) | NC 注 |
| (2) | G（映像） | (7) | アース | (12) | DDC DATA |
| (3) | B（映像） | (8) | アース | (13) | 水平同期 |
| (4) | NC 注 | (9) | NC 注 | (14) | 垂直同期 |
| (5) | アース | (10) | アース | (15) | DDC CLOCK |

注：NC: 未接続

端子配列図



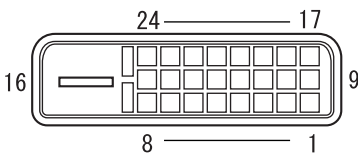
□ デジタル（DVI-D コネクタ）

端子配列表

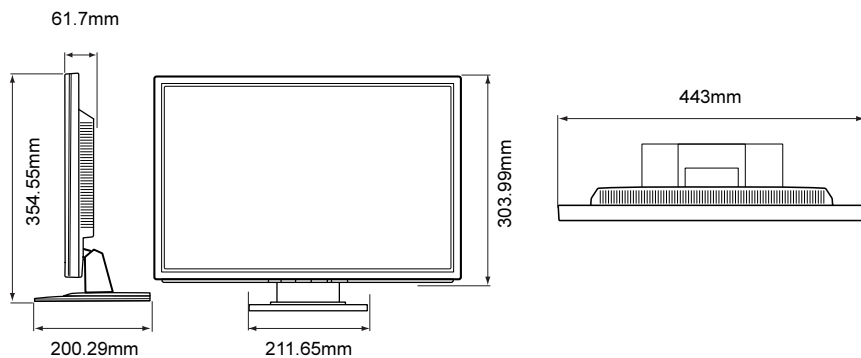
| No. | 信号 | No. | 信号 | No. | 信号 |
|-----|------------|------|------------|------|------------|
| (1) | TX2- | (9) | TX1- | (17) | TX0- |
| (2) | TX2+ | (10) | TX1+ | (18) | TX0+ |
| (3) | TX2 Shield | (11) | TX1 Shield | (19) | TX0 Shield |
| (4) | NC 注 | (12) | NC 注 | (20) | NC 注 |
| (5) | NC 注 | (13) | NC 注 | (21) | NC 注 |
| (6) | DDC/SCL | (14) | DDC +5V | (22) | TXC Shield |
| (7) | DDC/SDA | (15) | DDC GND | (23) | TXC+ |
| (8) | A-VS | (16) | HPD | (24) | TXC- |

注 NC: 未接続

端子配列図



外形図



カラー液晶ディスプレイ -19 ワイド (VL-194SSWL) オンラインマニュアル

B6FY-0201-02 Z0-00

**発行日 2010 年 9 月
発行責任 富士通株式会社**

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。